

UNTAC・明石代表から

AMDA(岡山)に礼状

たゆまぬ 努力に感謝

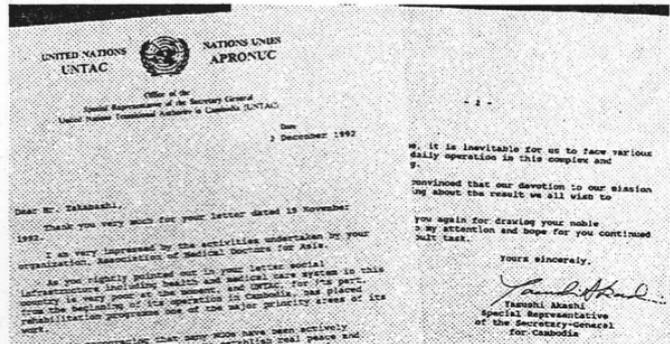
カンボジアでタイ国境から帰還する難民の医療救援に取り組んでいる民間の国際協力団体・アジア医師連絡協議会(AMDA) 〓 本部・岡山市楠津、菅波内科医院内〓の元にこのほど、国連カンボジア暫定統治機構(UNTAC)の明石康代表から感謝の手紙が届いた。

手紙は現地で活動する高橋央医師(〓) 〓 東京都出身 〓 へあてたもので英文。「AMDAの活動に深く感銘し

カンボジア難民医療救援

ている」との書きだして始まり「あなた方のような医師グループが人道的立場から、厳しい環境にもかかわらず、健康状態が悪く医療とAMDAの活動を称賛。

設備も整っていない地方の人々への援助に、たゆまぬ努力をされていることをとてもうれしく思っている」
現在、カンボジアでは高橋医師ら三人が、首都プンペンから南西約五十キロの



UNTACの明石代表からAMDAへ届いた手紙

さらに「私コンボンスプー県ブノム・は(カンボジア)における) 挑戦的 な活動に参加するすべ の人々の努力が、カンボジアの内政安定へ貢献し、恒久的な平和をもたらすことを確信している」とし、「困難な活動だるる。 AMDAは日本などアジア十三カ国の医師らで組織。カンボジアのほかネパールなどでも難民の援助に取り組んでいる。また近く、国内の民間海外援助団体(NGO)と協力し、ソマリア難民救援のための医療チームをアフリカへ派遣するなど、国際的な医療救援活動を展開している。

菅波茂代表は「私たちの活動が国連などの公的機関に認められ大変わうれしい。今後も現地の事情に応じた救援活動を続けていきたい」と話している。